



## 優しく質の高い眼科診療を提供 地域の眼の健康をサポートする

丁寧で分かりやすい説明や、親しみやすい人柄にも信頼が集まりつつある水島院長。地域の頼れる眼科医として期待が高まる



- ①黄斑部疾患や網膜疾患、緑内障などの検査に有用な3次元光干渉断層計(OCT)も導入。専門技術者の視能訓練士が検査を行う
- ②場所は地下鉄東西線南郷13丁目駅すぐと通院の利便性もよい

水島由紀子院長は「患者さんにとって受診しやすい外来を一番に考え、できるだけ分かりやすい説明と、丁寧で親身な対応を心掛けてまいります」と話す。診察室にはリクライニングチェアも設置され、涙目などの涙道閉塞症に対する涙道洗浄や、ものもらいの切開などの処置の際、ベッドでは横になるのが苦痛な高齢患者の負担が少なく済むように配慮。検査機器は、眼底写真撮影や画像解析を行う3次元光干渉断層計(OCT)をはじめ、眼圧と屈折(遠視や近視

の度数も測れる)、角膜の形状を測れる装置が一体となった「トノレフⅢ」などの最新機器も完備。患者層は幅広く、子どもの視力検査や眼鏡処方、高齢患者も多く白内障の診断・治療に力を入れ、毎月第4水曜午後には白内障手術に定評のある札幌かとう眼科の院長であり、彩光会グループの加藤祐司理事長による専門外来が開設され、白内障をはじめ手術が必要な患者の診察に当たっている。

「年齢にともなって起こる目の症状にはさまざまなものがあります。目の病気は徐々に進行していくため、その状態に慣らされ検査によって初めて白内障が進行していることが分かったり、緑内障や加齢黄斑変性が見つかることもありま

す。特に症状がなくても、40歳を過ぎた方は一度検査を受けてみることをお勧めします。気になる症状はもちろん、どんなことでも気軽にご相談ください(水島院長)



理事長  
加藤 祐司氏

旭川医大卒業。旭川医大眼科講師・医局長を経て、2011年札幌かとう眼科開院。日本眼科学会専門医。旭川医大眼科客員教授。札幌医大眼科非常勤講師。医学博士



院長  
水島 由紀子氏

筑波大学医学専門学群卒業。同大および茨城県内の関連病院勤務を経て、2016年茨城県より転居。17年より札幌かとう眼科勤務、同年8月より現職。日本眼科学会専門医

### 眼科

医療法人社団 彩光会

## なんごう眼科

診療時間  
平日 9:00~12:00 13:30~17:00  
土曜 9:00~12:00  
休診日 日曜・祝日  
最寄りアクセス  
地下鉄東西線南郷13丁目駅すぐ

☎011-860-2222

札幌市白石区南郷通14丁目南3-11 ラスコム13 3階